

二〇二〇年九月一日(参加者二名)

秋暑し今は使はぬ二階部屋	素 秀
天気予報期待はずれや秋暑し	たか子
撒く餌に犇めく鯉や秋暑し	ぽんこ
豆腐屋のラッパ気怠き残暑かな	小 袖
スケジュール目白押しなり秋暑し	こすもす
立ち話途切れがちなる残暑かな	たか子
駐車場マイカーは何処秋暑し	うつぎ
秋暑し民生委員忙しく	明日香
飛鳥仏おはす御寺の白芙蓉	はく子
たつぷりと雨降つてほし街残暑	満 天
地下街を出で大都市の秋暑し	かかし
ビル陰を拾ひつつゆく街残暑	わかば
手にあまる腕白の孫秋暑し	もところ
ひとつ買ひ忘れて戻る秋暑し	せいじ
ジーンズのボタン止まらず秋暑し	よし子
酔芙蓉閉ぢて花街夕さるる	菜 々
近道の筈が渋滞秋暑し	うつぎ

GOTOキャンペーンと言へどこの残暑

たか子

秋暑しまさか難病指定とは

やよい

視力弱りしは残暑のせいならむ

明日香

いつ終はる夜間工事よ秋暑し

ぽんこ

雨雫抱きしままに芙蓉閉づ

小 袖

声囁らしては香具師叫ぶ残暑かな

なつき

秋暑しどこまで続く護岸壁

小 袖

尼寺の庭に咲かせて酔芙蓉

はく子

芙蓉咲く路地分入れば行き止まり

智恵子

WEB句会みのる選・二〇二〇年八月一日